

鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 要点記録

第 4 回

開催日時	平成 30 年 11 月 12 日(月) 午後 6 時 30 分～8 時 05 分	
開催場所	鷺宮小学校 多目的ルーム	
出席者	委員	高橋洋雄、田村邦彦、岡田勲夫、野澤房枝、戸引一博、中川明、瀬尾圭、吉田和代、堀井裕子、宮内信子、黒木伸子、齊藤百合、浦野雅晴、古屋悦代、武智直貴、岡本賢二、佐々木智津子、早乙女通英、高橋昭彦、石原千鶴 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校・地域連携担当
	その他	子ども教育施設担当、パシフィックコンサルタンツ株式会社
会議次第	【議事】 1 統合新校の新校舎の基本構想・基本計画（案）について 2 その他	

第 4 回 鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 会議要旨

委員長

これより第 4 回学校統合委員会を開会する。傍聴希望者はいない。本日は新校舎の検討を支援していただく設計会社である、パシフィックコンサルタンツ株式会社の皆さんに出席いただいている。

1 議事

議事（1）統合新校の新校舎の基本構想・基本計画（案）について

委員長

それでは議事に入る。（1）統合新校の新校舎の基本構想・基本計画（案）について、パシフィックコンサルタンツ株式会社（以下パシコン）より説明をお願いしたい。

■資料「アンケート調査実施報告書(概要版)」をパシコンより説明

調査目的

「中野区立小中学校再編計画(第2次)」に基づき統合する鷺宮小学校・西中野小学校の児童、教職員、保護者、地域住民に対して、現在の学校の良いところ、改善すべきところ、今後の学校に望むことなどについてアンケートを実施し、基本構想・基本計画策定に向けた基礎データとする。

1 調査期間

平成 30 年9月3日～9月 21 日

2 調査対象、回答数

調 査 対 象		回 答 数	
鷺宮小学校 西中野小学校	4～6 学年の児童	鷺宮小学校	137 人
		西中野小学校	96 人
	教職員	鷺宮小学校	32 人
		西中野小学校	23 人
保護者	鷺宮小学校	178 人	
	西中野小学校	96 人	
地域住民（各学校統合委員会委員の推薦する地域住民）			53 人

委員長

今の説明について、意見・質問等はあるか。

委員

アンケート結果を見ると、統合新校において特に大切と思う項目において、保護者と地域住民では防犯・防災の観点が1位になっている。自分もこれは重要な要素だと思う。地域住民からの意見でも指摘されているように、統合新校は、校舎と校庭が道路で分断されてしまう。わが国では学校教育法に基づき小学校設置基準が制定されているが、それによると、但書付きながらも原則は「校舎及び運動場は、同一敷地内又は隣接する位置に設けるものと」と書かれている。安全に支障がなければ両者が離れていても問題は無いと思うが、関係者に聞いた印象では、この敷地には以下の問題があると思う。

一点目は、職員室から校庭が見えないという問題である。校庭での事故発生時や、不審者の侵入時にすぐに対応できないことのリスクは大きい。また先日立川第一小学校の視察に参加した際、ボランティアスタッフと話をしたが、校舎と校庭が離れた構造はあり得ないと言っており、危ないということである。また関係者によると、現在第八中学校では教員が昼休みに校庭の監視をしているようだ。しかし、小学校では授業前の朝の時間や中休み等、休み時間が多いので、そのたびに教員を数名配置しなければならなくなる。これが現実には可能かどうかを教育委員会にはよく考えてほしい。また、先生は多忙で、中休みや昼休みも児童の連絡帳の確認やテストの採点に追われて、時間が無い。そうしたことを考慮すると、少なくとも各学級に二人担任をつけないと学校が回らないと思う。

二点目は、保健室から校庭までの距離が離れているという問題である。これにより、児童が校庭で怪我をしたときに対応が遅れるおそれがある。関係者によると、第八中学校では5、6年前に心臓の弱い生徒が校庭で倒れた事故が起きたそうだ。その時は教員二人で対応し、一人が心臓マッサージを行い、もう一人が救急車を呼んで事なきを得たそうである。このように教員の目が

行き届く構造にしないと、緊急事態発生時の対応が遅れることは間違いないだろう。

三点目は、火災・地震等の災害時の避難場所が無いという問題である。現在の第八中学校の災害マニュアルでは、渡り廊下を渡って一度公道に出て、その後校庭に二次避難するそうだ。その所要時間は約4分だそうだが、抜き打ちでやればさらに時間がかかるだろう。しかし、180人程の第八中学校に対して、統合新校は540人規模の想定である。その人数が渡り廊下に一気に集中して短時間で安全に渡るのには難しいだろう。また、渡り廊下が崩壊したり、学校周辺にある坂やのり面が崩れたりしたら、避難する経路がなくなってしまう。地震発生時に校庭に避難できないのでは話にならない。なおイメージ①では、校舎で敷地がいっぱいになっており、逃げ場がないように思う。教育委員会がどのような解決策を示すのかを待ちたい。

委員

アンケートには、校舎と校庭が分断されているという問題が反映されていない。また、最も重要な踏切問題についても最後に少し踏切という言葉が出てくる程度で、どのようにしたら良いのかという要望が一切出ていない。しかしこれらは、真剣に取り組むべき課題だと思う。

委員

このアンケートは、「新しい学校に望むこと」という質問なので、踏切や子どもたちの動きについて回答が無かっただけだと思う。それらは別に考え直さないといけないだろう。

委員

教育委員会、設計業者、学校の三者で話を詰めてから案を提示してほしい。保護者やOBは、小学校を設計する上で何が大事なのかが分からないだろう。まだ煮詰まっていない内容を自分のような素人が聞いても意味がない。このような段階を踏まない進め方は好ましくない。

事務局

アンケート結果の報告があったが、前回出た意見とアンケートを反映して新たな施設配置案を作ってきた。この資料を説明してから意見を戴く形でお願いしたい。

委員

配置案は先生と打ち合わせて作ったのか。

委員

議事の進め方について意見したい。今はアンケート結果に関する質疑応答の時間なので、施設に対する意見交換は次の配置案の説明を待ってからが良い。

また、今出た意見に関してだが、教育委員会と設計会社の話し合いには、現場の校長も参加したのか。

事務局

この場で配置案への様々な意見を頂戴したいと思っているので、学校長と詳しい話はしていない。

委員

配置案の作成には、学校との事前調整が最も重要だと思う。また、本日のようにこの場で初めて配置案を見てもすぐに意見は出てこない。

委員

次の検討まで一か月以上も間が空いてしまう。

事務局

ご意見として承った。

委員長

では次に、全体施設計画の説明を求める。

■全体施設計画について、パシコンより説明

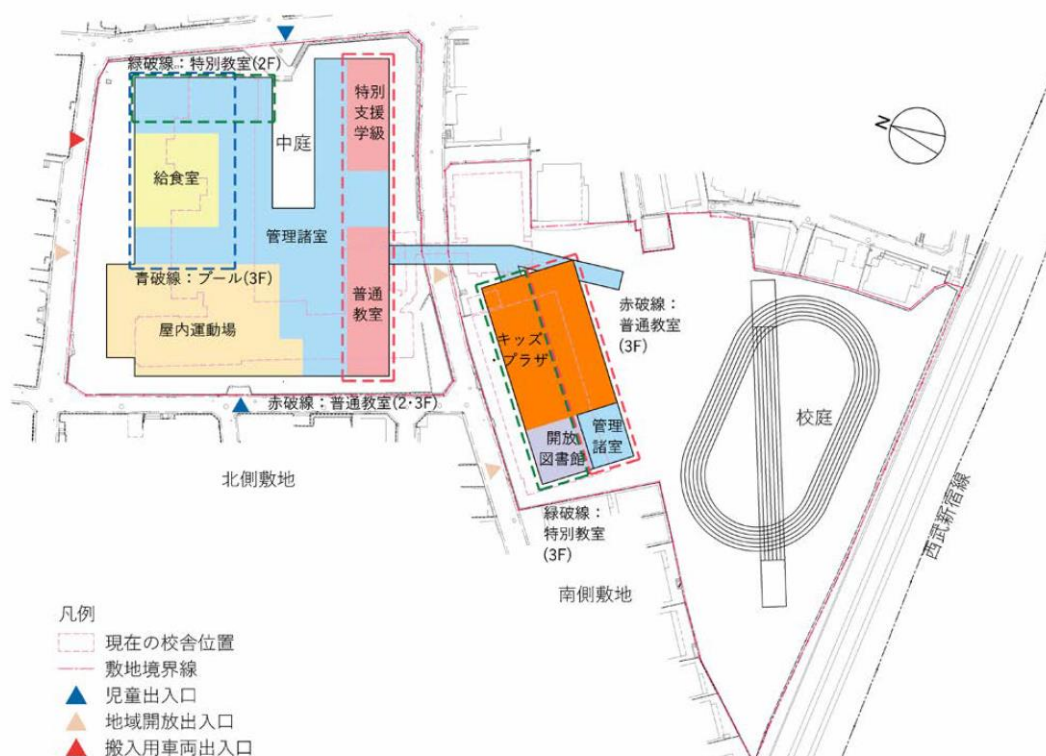
全体施設計画

1. 前回（10月9日）の学校統合委員会で頂いたご意見

- ・ 第八中学校は鷺宮四丁目地域の災害時の避難所に指定されており、帰宅困難者も含めて、500人から1,000人が来る想定だが、新校舎は避難所として利用できるよう検討してほしい。
- ・ 児童が西武新宿線を安全に渡るために、跨線橋や地下道を設けられないか検討してほしい。
- ・ 敷地が2つに分かれており、校舎と屋内運動場・校庭が別の敷地に分かれていることで、校庭などの遊び場への出やすさや、全校集会を行う際の移動時の安全性について懸念がある。
- ・ 道路上空通路を設ける場合は、幅員を出来るだけ広くする、本数を2本以上設けるなどして、大人数が安全に通行できるような対策を検討してほしい。
- ・ 子供たちにはのびのびと活動してもらいたい。北側敷地は住宅に囲まれておりその中で活動するのはストレスがかかるのではないか。よって、南側敷地は校庭のみとし、北側に全ての校舎を配置するなどして、校庭利用時にストレスなく活動できるようなプランにしてもらいたい。
- ・ 南側敷地は西武線に面しておりその音や視覚への影響がデメリットになるが、南側敷地に校舎を配置し、北側敷地に校庭と地域住民の方が利用できる施設を配置した新たな案も見てみたい。
- ・ 運動会等の行事で、校庭や屋内運動場での楽器演奏を行う機会があるため、音楽室から校庭・屋内運動場への楽器運搬についても配慮した設計をしてほしい。
- ・ イメージ①について、校庭や体育館での集会だと移動時間がかかってしまうため、中庭を集会が行える広さにすることはできないか。
- ・ ここ数年でランドセルのサイズが少し大きくなっていると思う。教室には、新しい規格のランドセルでも収容できるロッカー使用スペースを確保してほしい。

2. 施設配置計画

施設配置イメージ①



■建物配置特徴

【校舎・校庭】

- ・ 北側敷地に校舎を配置するが、一部の普通教室及び特別教室を南側敷地にも配置。(普通教室を南向きに配置)
- ・ 南側敷地の南側(西武新宿線側)に校庭を配置。

【地域開放施設(屋内運動場、キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館)】

- ・ 北側敷地の北西側に屋内運動場を配置。
- ・ 南側敷地の北側にキッズ・プラザ、地域開放型学校図書館を配置。

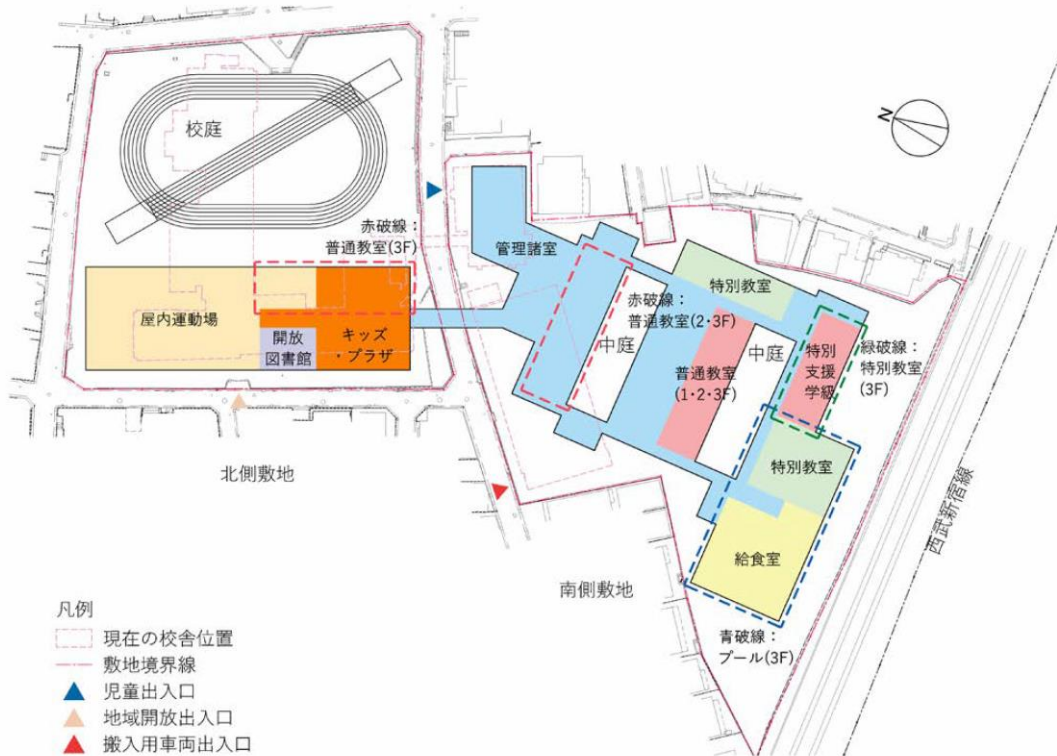
【メリット】

- ・ 全ての普通教室が南向き採光にて確保できる。
- ・ 屋内運動場を北側敷地に配置することにより、校庭を利用しなくても学年集会等を行うことができる。
- ・ 北側敷地と南側敷地の両方に普通教室を配置することにより、道路上空通路を全児童が一度に通行することがない等、安全性を確保できる。
- ・ 北側敷地の校舎⇒道路上空通路⇒校庭へ円滑な動線を確保のうえ、一体的に整備。

【デメリット】

- ・ 給食室から南側校舎に配置した普通教室への動線が長くなる。

施設配置イメージ②



■建物配置特徴

【校舎・校庭】

- ・ 南側敷地に校舎を配置するが、一部普通教室を北側敷地にも配置。
(普通教室を東・南向きに配置)
- ・ 北側敷地の東側に校庭を配置。

【地域開放施設（屋内運動場、キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館）】

- ・ 北側敷地の西側に屋内運動場、キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館を配置。

【メリット】

- ・ 南側建物の上階から校庭への視認性が確保できる。
- ・ 地域開放施設を北側に設けられるため、児童との動線分離等、セキュリティが徹底できる。

【デメリット】

- ・ 西武新宿線の音や視覚等の刺激、普通教室の採光を考慮すると、南側敷地に遊び場や集会等に利用できる中庭や、整形の校舎を整備することができない。
- ・ 普通教室から校庭・屋内運動場への動線が長くなる。

委員長

今の説明について、意見・質問があれば伺いたい。

委員

これらは、前回の配置案とは全く別に作成した案ということか。前の案は消えたのか。

パシコン

前回戴いた意見を参考に、教育委員会と打ち合わせをして新たに作成した。

委員

西武新宿線（以下西武線）の下に児童が通るトンネルを作るということになっても、両案とも対応できるのか。

パシコン

西武線の上に跨線橋を作る、あるいは地下を掘るという話について、両案ともまだ考慮せずに作成したものだ。

委員

西武線が高架になった場合は、騒音の影響があるので、建物の設計に関わってくる話なのではないか。

事務局

西武線自体のあり方が、高架化なのか、地下化なのかという点は決まっていない。そのため、どちらになったとしても対応できるように施設整備計画を考えていかなければいけないと思っている。イメージ②については、高架になった場合は、デメリットにあるように音や視覚の刺激で影響を受けるだろう。教室の配置に工夫が必要になると思う。

委員

イメージ②の場合、西武線が高架化したら一般的には北側に管理用通路が設置されると聞いている。そのような場合、敷地内に道路が出来るが、その点は既に踏まえて計画しているだろう。

パシコン

図面の南側が西武線で、赤線が敷地境界だが、その内側に敷地を取られることも考慮して計画している。

事務局

西武線が高架化・地下化するいずれの場合でも、位置が決まっていないし、管理用通路として側道が出来る可能性があるため、そうした点は西武線にヒアリングをしているところである。西武線の影響が無いように敷地に余裕を持たせて設計している。今後も情報収集しながら計画していきたい。

委員

両案とも、児童たちの避難動線を確保しているのか。

パシコン

道路上空通路を通る避難を考えている。先日立川第一小学校を見学したが、そこは統合新校と同規模の小学校だが、避難通路としては道路上空通路を使うということだった。また、建物から出て中庭を通り敷地外へ出るというルートを考えている。

委員

立川第一小学校は、体育館と校舎がブリッジで繋がっている形で、生徒がいるのは基本的に校舎・校庭側の敷地なので、運用面で特段支障は無いと思う。今回提示された配置案も前回同様、道路上空通路を渡ることには変わりはない。例えば火災等で道路上空通路が使えない場合、公道に出て避難する形になるということか。

パシコン

その通りである。建築基準法上の避難という意味では、北側敷地と南側敷地のそれぞれで成り立つように計画している。その後全員を1箇所に集める場合は、道路上空通路を渡って校庭や体育館に集まることになる。

委員

前回、校舎からの校庭の視認性が問題になったと思う。両案とも、職員室等の教員がいる部屋から校庭が見えるのか。

パシコン

教育委員会と相談中だが、校庭に面する校舎一階部分にサブの職員室のような部屋を設けることを話している。

委員

先生同士でコミュニケーションを取りながら学校運営をしていると思うが、部屋が分かると大変なのではないか。

委員

イメージ①は、校庭に面している管理諸室が職員室ということか。北側建物と離れすぎていると思うが、支障はないのか。

パシコン

運用部分までには踏み込めていないが、スペースとしてはこのようなものを確保しようという話をしている。

委員

その運用部分が非常に大切である。現場の先生方の意見が最も尊重されるべき事柄であり、それを後回しに設計しても意味が無いのではないか。

委員

両案とも、校庭を校長室ないし職員室から視認しづらい設計だが、これは小学校本来の設計ではない。そもそも、南北で2.5mの段差がある敷地に小学校をつくることに無理がある。

我々委員は、統合することを前提に、校名・校歌等について審議するために集められた立場ではあることは承知している。しかし、自分は立川第一小学校の視察に行き、日頃見守っている第八中学校にも実際に入り、自分の目と足で確かめたが、小学校をこの敷地にもってくるというのは無理でやらない方が良いと思う。行政として、今さら計画を反故にするのは難しいと思われるが、この先ずっとその場所に学校が建つわけである。敷地にも校舎設計にも無理があるという、無理に無理を重ねた状態で学校を建て、問題は運用面で何とか解決しようという姿勢で、将来子どもたちに我々が責任を持って応えられるのか。自分はこの統合案を白紙に戻して、もう一度初めから考え直したい。鷺宮小学校も西中野小学校も、少人数になったとしてもそのまま存続させれば良い。学校の視察に行き、配置案も見てそう思う次第である。

委員

自分も第八中学校位置に小学校を建てるのは難しいと思う。立川第一小学校と第八中学校の見学に参加して関係者に事情を聞いた。立川第一小学校は校長室、保健室に大きな窓があり視認性が良かった。また、立川市の教育委員会の担当者と話した際、児童の安全にとっても配慮して設計したという言葉が印象的だった。

それらを考えても、基本に戻り、児童の命を守り、健やかに育ってもらうために教育現場はどうあるべきなのかということのを再考しないといけないと思う。自分は東日本大震災で被災した宮城県の学校も色々と見て安全関係も勉強してきたが、そうしたことを踏まえて意見を申し上げている。

委員

自分も15年程前、この地域の学校の再編計画の話が出た時は、統合もやむを得ないと思った。そして、鷺宮小学校と西中野小学校の中間地点にある第八中学校位置に統合新校を建てるという理由づけにも納得がいった。しかし今実際に配置案を見てみると、その自分の考えは足りなかったのではないかと感じてしまう。一流の方々が設計しても、全員が納得するものが出来上がって来ない。特にイメージ①は、校舎から校庭が全く見えないし、トラックの配置も無理があると思う。良い配置案が出てこないならば、再編計画自体を見直す可能性についても考えるべきなのではないか。

事務局

再編計画は、過去の様々な検討を経て作られた。当時は第八中学校位置に統合新校をつくることについて色々な意見があったが、両校の中央部にあるし、面積的にも他校に比べると大きいので、この場所が良いということで落ち着いた。しかし一方で、具体的な検討に入った今、安全面等で支障が多いのではないかとということで議論が再燃したと思う。

まずは、この位置に建てる場合の問題点を全て洗い出し、それに教育委員会が責任を持って回答できるかを考えたい。問題を解決できるのかどうかという結論が出てから、再編計画を変える必要があるのかという次の議論に移ることになる。

問題を解決できない場合は再編計画の見直しをするべきだという意見を戴いたことは重く受け止める。しかしながら、第八中学校位置につくった場合の問題点は、まだ議論の途中だと思う。この場で全ての委員が意見を述べることは難しいと思うが、今日の段階で出てくる問題を全て聞く進め方をしたい。

委員長

では、意見を述べてほしい。

委員

再編を白紙に戻すことは可能なのか。

事務局

それは、課題をまず聞き、解決策を吟味して結論を提示したその先に考えることだと思う。様々な事を考えて再編計画を作ったので、今の計画の中で工夫をして進めたいと思うし、地域の方に長年議論していただいた計画を踏まえないということは考えにくい話なので、まず今の計画に基づいて出来ることを考えるのが我々の仕事だと思っている。それに対して、ここは難しいのではないかとこの点をまずは聞かせていただきたい。

委員

イメージ②では校庭を北側敷地に置くが、地域住民から騒音の苦情が来るのではないかと心配である。第八中学校は少人数で中学生はそれなりに大人なので特に問題もないだろうが、500～600人の小学校が、苦情を気にせず校庭で遊んだり運動会を開催したりできるのかが心配だ。せせらぎ公園のサッカーグラウンドですら、親の声援に対して苦情が来るほどだ。都内なので仕方がないかもしれないが、ある程度は自由に遊ばせてあげたいという思いがある。

委員

校舎は、教育、安全、防災の三つに重きを置いてつくるべきだと思うが、この案ではそれらが担保されているのか不安である。現に、擁壁や敷地間の高低差、災害時の通路の安全性等、問題が山積している。現場の先生の声も聞き、練り直してほしい。

事務局

小学校で本質的に重要なのは何かという原点に立ち返って検討するには、学校側の考えも当然に踏まなければいけないと認識している。その上で課題として挙がっている点について対応可能なのか、またその場合はどのような形でやるのかを考えていきたい。

委員

先生の数を増やす必要があるという話も出ていたが、今から増やせるのか。

事務局

その場合には、例えば教員以外に人を配置して安全確保する方法がないのか、角度を変えれば解決策も考えられなくはないと思う。本日は教育委員会としての最良の案を提案できないが、受け止めて考えたい。

委員

連絡通路は、どのくらいの幅を考えているのか。

パシコン

両案とも、約4mである。

委員

少し狭いのではないか。

委員

立川第一小学校の連絡通路は体育館へ行くだけのものだが、2.5m程に感じた。

委員

その小学校の先生曰く、連絡通路を通るのは全校朝礼時と体育の授業時だが、全校朝礼時はクラス毎に移動しているそうだ。全校で一斉に移動することはないので、混乱はないということである。しかしこちらは休み時間の度に、短時間で多くの児童が行き来する。幅の問題ではなく、連絡通路自体が小学校の性質上不向きであると思う。

委員

この委員会は、第八中学校位置に学校を建てるという前提の下に発足したはずだ。各々思うところはあるだろうが、先の前提を踏まえると、ここではどのような学校をつくるかを話し合い決めていけば良いと思う。

委員

本来はそのような場であるが、今の議論はそこではないと思う。問題点が解決できるのであれば第八中学校位置の計画が進めれば良いが、解決できないのであれば白紙撤回もあり得る前提だと理解している。500人の小学生を収容する小学校としては、第八中学校の敷地は不適切であるという意見が大勢を占めていると思う。

委員

それは一部の意見であり、全員の意見ではない。全員であれば、計画の変更もやむを得ないだろう。しかし、今白紙に戻すところまでの議論の意味がなくなってしまう。設計業者も配置案を提示してくれているのだから、より良い案にするにはどうすれば良いのかを協議するべきだ。第八中学校位置で出来ないと考えるのなら、それを可能にする方法を模索してはどうか。

委員

白紙案も、出てきた意見のうちの一つとして検討してもらえば良いのではないか。

事務局

長年議論を尽くして出来上がった再編計画なので、第八中学校位置につくることをベースに考えたいし、それが地域の意見を踏まえた進め方だと思っている。しかし、道路で隔てられており高低差もあるという敷地の難しさに直面している中で、委員の皆様からここで本当に大丈夫なのかという具体的な意見が出てきている。それらの不安を払拭するため、解決方法を検討し、考え方を整理して示さなければならないと思っている。学校は今後何十年も使うところなので、一番良い形に整理して進めたい。

白紙撤回という意見も戴いたが、それは現段階で最善の策とは思っていない。議論で顕在化した課題をどう克服できるのかを考えることが我々の使命だと思っている。その上で修正案を提示して、納得してもらえるようにしたい。現段階で白紙に戻すことは地域の意思に沿っていないので、出された意見については真摯に受け止めて回答したい。

委員長

引き続き、行政には真剣に意見を検討してほしい。

委員

第八中学校位置に建てる場合は、南側校舎から北側の校庭が見渡せることが第一条件だと思う。その点、イメージ②は校舎から校庭が見渡せそうだ。トラックの長さが知りたい。

パシコン

1周120mの6レーン、直線は50mである。他の統合校も同じ基準で設計している。

委員

トラックの周囲にあるものは塀なのか。

パシコン

塀や擁壁である。

委員

どのくらいの高さか。

委員

両案とも、運動会で父兄の観覧スペースは確保できるのか。

パシコン

イメージ②は、前回南側敷地に校舎を建ててほしいという意見があったので、それを基に作った。校庭を無理やり入れたところがあるので、イメージ①よりも狭い。保護者の観覧席のスペースの確保は正直厳しい。

委員

そのように色々な案を提示してもらってデメリットを見ていかないと、何が良くて何が悪いのかという判断が出来ないので、この形で出してもらって構わない。

委員

道路で隔てられて敷地に高低差があるが、今は石垣と金網が設置されている。中学生ならそれで足りると思うが、小学生だとよじ登って転落するおそれがある。何か対応してほしい。

事務局

そうした部分は対応できる。

委員

渡り廊下は防災上、1本ではなく2本必要だろう。

委員長

では、皆様の意見を真剣に検討して、良い方向に進めていただきたい。

委員

先生からの要望はまとめているのか。

事務局

まだ聴取していない。先生の意見もきちんと聞くようにする。

委員

先生方は出席しているが、教育委員会がいる場では意見を言いづらいというのが現実だろう。先生の意見も配置案に反映してほしい。

事務局

そのようにする。

議事(2) その他

委員長

本日の議事は以上だが、事務局から連絡がある。

事務局

資料の説明をする。統合新校位置が第八中学校位置になった経緯について、中野区小中学校再編計画(第2次)の抜粋を付けている。また、資料「平成30年度基本構想・基本計画策定スケジュール(案)」について、現在2つの配置案が提示されているが、統合委員会ではどちらかの案を選ぶのではなく、新しくできる学校をこういった施設にしてほしいという意見を取りまとめて、教育委員会に報告する。教育委員会はその意見も踏まえて、1月に基本構想基本計画案を取りまとめ、2月にその計画案について区民との意見交換会を実施し、その内容を次の統合委員会で報告する予定である。

委員

次に出てくる案はどのようなものになるのか。本日は、この配置案についての意見はあまり出てこなかったと思うが。

委員

本日の案について疑問等は全て洗い出したいが、時間が押しているので、メモを載くなりしたい。

委員

現場の先生の意見が大切だ。

事務局

それらの意見を戴ければ、検討する。

事務局

今月5日に立川市の立川第一小学校に視察に行ったので報告する。その時の資料を用意している。統合委員会からは4名が参加し、その他にはパシフィックコンサルタンツ株式会社の担当者、中野区からは指導室長、こども教育施設分野担当、施設分野担当、学校地域連携担当が参加した。立川市の教育総務課長から説明を受けた後に、30分ほど施設を見学し、質疑応答をして終了した。

委員

立川第一小学校は条件が違うので比べても参考にならないだろう。第八中学校の位置に建築するのは無理がある。

委員

本日は例えば通路を2本にした方が良くといった具体的事項を検討するために集まったので、ゼロに戻すという進め方は妥当ではない。

事務局

本日の議論を踏まえると、回数をもう一回増やす必要があると感じる。皆様に負担をかけることになるが、しっかりとした議論をしたい。12月6日はどうか。それまでに教育委員会の考えをまとめるので、それについて議論をしてほしい。その後また修正すべき点は修正していく形で、段階を踏みながら進めたい。

委員長

その時に本日出た意見に対するある程度の回答はもらえるのか。

事務局

そうしないと先に進めないと思うので、出すようにする。

委員長

次回は12月6日木曜日の6時30分に開催したいが、皆様の都合はいかがか。場所は区民活動センター等を確保して後日連絡する。

(日程調整)

委員長

では次回と次々回は、12月6日木曜日と、12月18日火曜日のそれぞれ6時30分から開催する。本日の統合委員会は以上で終了する。